



令和2年
新年号



人 法 団 学習財 館
行 益 財 生涯学習財 館
公 奈良市原市公 命
發 公 奈良市荷町1078-1
T 81-0888
發 行 責任者
泉森由貴

「お迎えの準備」

館長 **泉森**
いずもり
由貴

明けましておめでとうございます。令和最初の年明け、2020年のお正月です。干支は一回りして子年、そして東京オリンピックの開催年と全てに於いて記憶に残る一年になります。

先日、しめ縄作りの講座において講師より、お飾りの意味を伺いました。初詣に行くのに自家用車のグリル部分に注連飾りを付けてたのは昔のこと。今ではほとんど見なくなりました。家の玄関飾りも簡易なりースに変わってきてるよう思います。でも、講座で伝え、自作するのは伝統的な大根締めです。関西で一般的なしめ縄には縁起物の飾りを付けます。清廉潔白の「裏白」、家系を譲り絶やさない「譲り葉」、代々栄えるよう願う「橙」です。

では、そもそもどうしてそのしめ縄を玄関や門戸に飾るのでしょうか。それには、年越しを「新年を迎える」と表現することに理由があります。昔から元旦には年神様という新年の神様が一年間の幸福をもたらすため、家々に降臨すると言われています。大和高原から伊賀にかけてはこの神様をフクマルといい、大晦日の夜に火を焚いて「フクマルコッコ、フクマルコッコ」とて自家へ呼び寄せたというのです。しめ縄には神様を祀る場所としての日印の役割が



あり、不淨なものを排除する結界を示しているといいます。なるほど、その証拠に紙垂（かみしで）を付けているんですね。「福をお迎えする飾り」この意味を知ると、福に満ちた正月の家内をより大切に感じられそうです。

さて、田原地区ではいろいろな課題が山積いたしております。その一つは、地区的少子高齢化が進み、高齢者の買い物や通院の交通手段の確保や、元気な老後を楽しむサロン等の提供をどう進めていくかです。また、田んぼや畠あるいは山林を、どのように有効に継続活用していくかも大きな課題です。先人が残してくれた切実な課題です。先人が残してくれた、この田原地域の自然環境を、大切に次の世代に引き継いでいきたいと思います。

私たちも講座をきっかけに、中村先生とコーラスに出会い、コーラスの楽しさに目ざめ、今までつながりがなかった人との出会いに恵まれました。まだスタート前で手さぐり状態の「インコントロ」ですが、楽しく歌って練習に来れば仲間がいて明るく元気になれる、そんな交流の場になればと思っています。

活動日は令和2年1月24日スタート。毎月第2・第4金曜日の午前10時から11時半まで、田原公民館集会室にて練習しています。興味のある方は練習日に公民館へお越しください。

さて、お迎えといえば4月には奈良にもオリンピックの聖火リレーがやって来ます。ギリシャからやってきた聖火を地域走者が代わりがわりに運び、次へ繋いでいく。先に紹介したお正月の當みにも通じる行事です。そしてなんどこの聖火ランナーに須山町の上岡三喜さん（みよ）が地元をより良くする奈良チャレンジャーとして選ばれたそうです。我々の一生のうちもう一度と見られないかも知れない聖火ランナーを応援し、皆でも知りたいものですね。

さて、田原地区のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

田原地区のみなさま、新年あけましておめでとうございます。



新春によせて

田原地区自治連合会長 松本 陽一

自主グループ「インコントロ」
がスタートします

インコントロ 代表 牛尾 栄子さん

公民館主催講座「はじめての女声コーラス」は中村操子先生で指導のもと参加者17名、計8回の活動でしたが、講座終了後受講者の思いで引き続き自主グループ「インコントロ」がスタートすることになりました。「インコントロ」とはイタリア語で「出会い」という意味だそうです。



